

危機管理への対応

## 危機管理への対応

平成23年3月11日の東日本大震災津波の経験を踏まえ、マニュアルや訓練による防災体制や意識の向上、電源や通信手段の断絶等への対策のための設備導入などにより、非災害時においても学生を守り早期の機能回復ができるよう危機管理体制を強化。

### 危機管理対応指針の見直し、事業別マニュアルの整備

危機管理対応指針について、平成23年12月1日に、本学における危機管理体制の強化を図ることを目的に、危機の事象区分の見直し及び危機の事象区分における責任者の明確化等を一部改正（平成23年12月1日施行）。

### 防災訓練の見直し、非常連絡訓練の実施

非常時における学内関係者及び施設利用者等の安全確保と財産保全に資することを目的に、平成23年11月に、防災訓練、消防訓練及び非常連絡訓練を実施。なお、平成23年度は訓練対象を限定して行っていることから、平成24年度は大規模地震を想定し、学生も含む全学関係者を対象とした避難訓練を全学的な避難行動を目的とした防災訓練を11月1日に実施。

平成26年度からはインターネットを利用した安否確認システムが稼動しており、それらの報告訓練を併せて実施。

### 滝沢・宮古両キャンパス間の非常時用通信手段の確保

非常時の滝沢キャンパス、宮古キャンパス間の通信手段の確保、非常時の他の機関との連絡の確保を目的として、平成23年12月に衛星携帯電話、平成24年3月に衛星インターネットを整備。

### 宮古短大部への自家発電機配備

非常時の宮古キャンパスの必要最低限の電力確保を目的として、平成23年12月に自家発電機を整備。

### 節電の取組

節電への取組が本県沿岸地域の復興支援活動そのものであるとの認識から、岩手県立大学節電行動計画を策定し、平成23年7月から9月の間、省エネや省資源についての取組を全学で実施。

### 放射線モニタリングポストの設置

岩手県環境生活部と連携し本部棟裏側に設置。平成24年3月15日（木）から稼動中。岩手県内においては「環境放射線モニタリングシステム」として本学を含め10基設置されている。

### 非常用物資貯蓄について

学内に防災倉庫を設置し、災害への備えとして災害対応備蓄品・非常食等（救助工具、多機能ラジオ、トランシーバー、アルファ米、非常用保存水等）を配備。

### 危機管理マニュアルの整備

**滝沢キャンパス** 平成24年度に、風水害・火山災害対応マニュアル、学生生活に係る危機管理マニュアル、学生の国際交流に係る危機管理マニュアル等6事象を整備。

平成25年度に、大規模地震対応マニュアル、学内情報システム障害対応マニュアルを整備。

**宮古キャンパス** 平成25年4月「学生便覧」に地震・津波マニュアル（平成25年1月30日制定）と避難場所を掲載

風水害対応マニュアル（平成26年8月6日制定）

NBCR災害対応マニュアル（平成26年8月6日制定）

暴力対応マニュアル（平成26年8月6日制定）

### 地元自治体との連携（協定調印）について

**滝沢キャンパス** 平成23年3月11日に発生した東日本大震災に付近住民の本学への避難があった経緯を踏まえ、本学の地域貢献の一環として、大規模停電時等における臨時避難所としての本学施設の一部使用を認めるとともに、同様の災害が発生した場合の滝沢村との連携による円滑な対応を確保するため、平成24年3月27日に「大規模停電時等における臨時避難所としての使用に関する協定」に調印。

岩手県と災害発生時のボランティア等への情報提供、一時滞在等の役割を担う広域防災拠点施設の利用に関する協定を締結。（平成27年3月31日）

**宮古キャンパス** 災害時の宮古警察署への施設貸出について（平成24年12月21日拡大理事会の承認を経て平成25年3月5日に協定締結）